

木曾三川で注意すること!

▲ 津波による水位の変化

地震が発生すると木曾三川下流域全体に影響がおよぶと推測されます。サイレンやパトロール車からの指示があった場合には従ってください。



▲ 増水による水位の変化

近くで雨が降っていなくても上流の降雨で増水することがあります。天気予報や携帯電話などで最新の情報を確認しましょう。



▲ 干潮による水位の変化

木曾三川下流域は潮の満ち引きによる水位変化があります。常に周囲の状況に注意して遊びましょう。



川で遊ぶ時の注意点

- ① 子どもだけでは行かない、行かせない。
- ② 雨の後など、増水している時には行かない。
- ③ 警察や消防からの指示があればすぐに従う。
- ④ 川の流れは場所によって違い深掘れ箇所もあるので注意する。
- ⑤ 携帯電話や電光掲示板などで川の状況を確認する。



河川の管理

木曾三川下流域は、5つの出張所が分担して河川管理施設の点検など日常のパトロールを行っています。



問合せ先

国土交通省 木曾川下流河川事務所
TEL.0594-24-5717

土・日・祝日の連絡先 TEL.0594-24-5711

URL.<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

木曾三川下流部

河川情報 マップ

RIVERS INFORMATION MAP

いつもの川



増水時



増水を知って、川を楽しもう!

木曾三川を 楽しむために・・・

川はいつでもどこでも安全とは限りません。台風や梅雨前線などによる大雨や地震による津波などで、突然川の水が増えることがあります。また、晴れていても潮の満ち引きで川の水位が変わります。川の持つ恐ろしさを知って木曾三川を楽しみましょう。

川に行く 前に・・・

天気を確認しよう！

川へ行く前には天気予報をよくみて、前日まで上流の地域に雨が降ったか、その雨量はどのくらいであったか、チェックしましょう。特に、“今日の天気”では上流の地域に雨が降るかどうかを必ずチェックしましょう。



川で遊ぶ時の服装

動きやすい服装やライフジャケット、はき慣れた運動靴やトレッキングシューズを履いて出かけましょう。また、いざという時に温度調節ができるよう、夏場でも長袖を用意し、雨具も忘れずに持ちましょう。



木曾三川下流部の情報発信



サイレン・ 放送施設

ゲート操作をサイレンなどでお知らせします。放送があった場合には避難しましょう。



電光 掲示板

川の流れに関する情報などを提供しています。河川利用者が多いところに設置されています。



●バトロール車

河川管理施設の安全管理のため、バトロールをしています。指示があった場合には川から避難しましょう。



●堰操作の注意看板

津波の恐れがあり、堰のゲート操作を行う場合にはサイレンにより注意を呼びかけます。



●安全啓発看板

川で遊ぶルールや注意事項を書いた看板が利用者の多い区域に立てられています。



携帯電話でリアルタイムな河川情報を知ろう！

アドレスの入力 ◆ <http://i.river.go.jp/>



携帯電話での操作方法

川の防災情報メニュー選択 → 1 レーダー雨量 2 テレメータ (雨量・水位など)

地方選択 → 1 全国 ～ 6 中部地方

各県・地域選択 → 1 中部地方 2 岐阜県 3 静岡県 4 愛知県 5 三重県

各県・河川別のデータが見られます。

携帯電話で見られる情報

各県のレーダー雨量情報や観測所ごとの雨量や水位情報を知ることができます。レーダー雨量では、周辺の降雨状況を見ることができます。また、普段から川の水位をチェックしておけば、洪水時と比較もできます。



注意する場所を知って木曾三川を楽しもう！

木曾三川 下流部 河川情報マップ

河川利用にあたってのお願い

木曾三川は潮の満ち引きの影響を受け、普段から川の水位が1日で2m近く変化することがあります。また、雨が降るといつもは川原でも水が流れる場所になったりします。天気や川の状況(深み)などに注意して利用しましょう。

<写真で見る要注意箇所等>



長良川国際レガッタコース



干潟(深掘れに注意)



深掘れ(取水口・排水口等施設周辺など他にも多数あり)



導流堤

岐阜県 養老町



木曾川大堰



水制



橋梁などの横断工作物



鉄塔



長良川河口堰



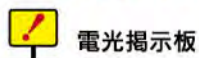
河川利用上 特に注意が必要な場所！

- 堰の操作による影響が想定される範囲
- 接近禁止施設(堰・取水口・排水口等)
- 干潮による影響(砂州)
- 河川利用上の要注意箇所(深掘れ)

津波による影響が想定される範囲



河川情報提供施設



電光掲示板



主なサイレン・放送施設

30.0K 河口からの距離

利用禁止(制限)区域

東海・東南海地震時の沿岸部での想定津波高 0m~1m(中央防災会議 資料)

※「干潟」や「深掘れ」は代表的なものを示しており、さらに潮の干満や出水などによって増減したり、場所が変わったりするので注意が必要です。